

第3学年 道徳科学習指導案

日 時 7月11日(土) 1校時

対 象 3年2組 32名

授業者 會津 聡子

- 1 題材名 「I LOVE 弘前」
教材名 「けいの秋田竿燈まつり」(新版みんなのどうとく3年 Gakken)
〈C-(16)伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度〉

2 校内研究との関わり

本時では, 児童が自分なりの考えをもち, 友達との比較や対話を通して考えを深める姿を目指す。自分との遊びを途中でやめ, まつりの練習に行くことを「つまらない」と思っていたたかしが, まつりの練習に思いをもって真剣に取り組むけいのことをかっこいいと思えるようになった心情の変化を考える場面において, まつりを大切にしている人々の努力や思いに気づき, 伝統や文化を大切にしていこうという心情を育みたい。

本時では, 「自律に向かう学び」のうち, 以下の段階を位置付ける。

㊦ 子どもが選択する場面が生まれる。

さらに, うまく言語化できていない多様な表現を認めること, 一人ひとりの考えの違いを比較・共有することを通して,

② 認知・思考の多様性

を生かした学びにつなげたい。

3 本時の授業

(1) 目標

たかしがけいをかっこいいなあと思った気持ちを考える活動を通して, まつりを大切にしている人々の思いに気づき, 伝統や文化を尊重することについての考えを深めることができる。

(2) 展開

学習活動	・教師の働きかけ ◎評価 ☆支援 □校内研究との関わり
1 秋田竿燈まつりについて知る。 「まつり」ってどんなもの。	・竿燈まつりについて知らせる。 ・動画で実際にまつりを見せる。 ・身の回りにあるまつりについてのイメージを膨らませ, 学習への意欲を高める。
2 「けいの秋田竿燈まつり」を読んで考え, 話し合う。 ○けいの真剣な表情に声をかけてはいけなような気持ちになったのはどうしてだろう。 ・じゃまをしてはいけなかったと思った。 ・話しかけると集中力がとぎれると思った。 ・他の人たちも真剣だから邪魔をしないようにした。 ・遊んでいるときとは違う様子だったから。 ・軽い気持ちで声をかけてはいけなかったと思った。 ●けいのことをかっこいいなあと思ったのはどんなかっこよさだろう。 ・練習をがんばるかっこよさ。 ・小さいころから続けるかっこよさ。 ・技をみがくかっこよさ。	□安心して考えを表現できる雰囲気をつくりながら学習を進める。 〔多様性②〕 ・直接練習に行く必要性を問い返し, 人から人へ技術が伝わってきたことに気付かせる。 ・声をかけてはいけなような雰囲気はどんなものかを問い返し, まつりの練習に地域の人が一生懸命取り組んでいることに気付かせる。 □ノートに考えを書くとき, 自分一人で考えるか友達と交流しながら考えるか選択できるようにする。 〔自律㊦〕

・昔からあるわざを受け継ぐカッコよさ。 ・あこがれるカッコよさ。 3 自分の生き方につなげる。 ○自分なら「まつりって●●なもの」の中に入る言葉はなんだと思いますか。 ・まつりは続けるもの。 ・まつりはみんなでやるもの。 ・まつりは受け継ぐもの。 ・まつりは技術を伝えるもの。	・「カッコよかった」と、「カッコいいなあ」に目を向けさせ、まつりの技術を受け継ぎ真剣に取り組んでいたけいのカッコよさに気付かせる。 □友達との考え方の違いを大切にし、多様な考えのよさに気付けるようにする。 〔多様性②〕 ◎まつりにこめられた願いや技術は人々が受け継いできたことに目を向けながら、受け継ぐ人々の思いを多面的に考え、表現している。 （発言・ノート） ・今日のまつりは、長い間地域の人々に親しまれてきた伝統的なまつりであったことをおさえる。 ☆まつりは●●なものという定型を示し、振り返りやすいようにする。
---	---